

新型コロナウイルスの5類感染症移行 & コカ・コーラが発売された日

2023.5.8 校長 西谷 秀幸

ゴールデンウィークが終わりました。皆さんの家では、5月5日の「こどもの日」に、こいのぼりをあげたり、五月人形を飾ったり、柏餅を食べたり、菖蒲湯に入ったりしましたか。

また、おとといの5月6日は「立夏」でした。2月に「節分」と「立春」の話をしたと思いますが、5月6日から、なんとカレンダーの上では季節が夏になるのです。これからの季節は、暑くなっていきますので、熱中症にも気を付けて過ごすようにしましょう。

さて、ニュースで見たり聞いたりした人もいると思いますが、今日から新型コロナウイルスが「2類」から「5類」に変わりました。といっても、「5類って何?」「何がどう変わるの?」という人も多いと思うので、その話をします。



まず、「5類」というのは何かというと、病気の中には「感染症」というウイルスが原因で人にうつる病気があって、その中でも、その病気にかかると死んでしまうこともある危険な病気は、このように、危険な順に「1類から5類」に分けられているのです。

今回の新型コロナウイルスは、2番目に危険性が高い病気という「2類相当」から、「5類」として毎年、何人か必ずかかる「インフルエンザ」と同じ扱いに変わりました。

そのことによって、新型コロナウイルスにかかったときに、前は7日間、学校をお休みしなくてはなりませんでした。これからは5日間、休むことに変わりました。ただし、休んだあと、学校に来るときは新型コロナウイルスに感染してから10日間は、マスクをして他の人にうつさないように気を付けてほしいと思います。

また、家族が感染したりしたときに、「濃厚接触者」として自分は具合が悪くなくても休まなくてはならないことがありましたね。今日からは、その「濃厚接触者」というものもなくなりました。

さらに、これまでは、毎朝、体温をアプリなどで毎日学校に知らせなければいけませんでした。今日からはその必要がなくなり、具合が悪くて休んだり、遅刻したりするときだけ、体温を知らせてくれればよいことになりました。

でも、ウイルスが急になくなったわけではないし、これからまた夏にかけて、新型コロナウイルスが流行ることもあるかもしれません。だから、体温を学校に知らせなくてもよくはなりましたが、毎日体温を測ることは続けてください。

最後にクイズです。

今日5月8日は、今から137年前に「コカ・コーラがアメリカで初めて発売された日」なのだそう。コカ・コーラは、今では、世界中で大人から子供まで大人気のジュースですが、実は、できたばかりのときは、ジュースとしてではなく、違うものとして売られていたそう。それは、次のどれでしょうか。

- | | | |
|---------|-------|-------|
| ① シャンプー | ② 調味料 | ③ 飲む薬 |
|---------|-------|-------|

正解は、「③ 飲む薬」です。コカ・コーラは、最初に売り出された頃、「飲むと疲れが取れる」とか「頭痛」「二日酔い」になど効くと言われていて、今でいうと「栄養ドリンク」のような薬だったのです。不思議ですね。

これで朝会のお話を終わります。

(裏面に「先生方へ」があります)

〈先生方へ〉

ゴールデンウィークが終わりました。皆さん、リフレッシュできたでしょうか。

先日、職員会議でお伝えしたように、今日から新型コロナウイルスが5類に移行するにあたり、学校での対応も変わってきます。ただ、学校間で大きな差が出ないように、急遽、小中の校長会で話し合うことになりました。もしかしたら、多少の変更があるかもしれませんが、それまでの間は、先日の内容で対応をお願いします。

さて、ゴールデンウィーク明けのこの時期は、新しい学年や先生にも慣れた上、4月の緊張感もなくなるため、どこの学校でも学級規律が停滞するのは必定です。特に4月の学級経営が今ひとつだったクラスは、そのほころびが子供たちの乱れとして表出していきます。

ですから、4月に作り上げたクラスを再び1から作り直すつもりで取り組むことが大切です。生活規律と学習規律の確立を最重点にし、「朝の会・掃除・給食・帰り会」の4つを丁寧に指導していきましょう。朝の会・帰りの会で時間が長くなるのはNGです。短時間でテンポ良く進めていくと、生活規律の確立がスムーズに確率していきますので心掛けてください。また、学校生活のリズムをなかなか取り戻せない子を叱るのではなく、大型連休後でもすぐに学校生活のリズムを取り戻して過ごしている子をたくさん褒めることで規律を再確立したいですね。

今週は、学びのエリア研修会、OJT研修会があります。特に、学びのエリア研修会では、カリキュラムをどう小中で繋いでいくかが重要です。今年度、私たちの「賢くなります学びのエリア」は、輪番によって小中一貫教育における「研究奨励校」となっており、昨年度に作成した「Chromebook活用推進プラン」をもとに、一人一台端末の活用による情報活用能力の系統的な育成を具体化し、報告書にまとめる必要があります。私たちのエリアの研究が板橋区の方向性に大きな影響を与えることは間違いありません。活発な意見交換や情報共有をよろしくをお願いします。

【資料】5月8日は「コカ・コーラの発売を開始した日」

1886（明治19）年5月8日、アメリカ・アトランタの薬剤師ジョン・ペンバートン氏がコカ・コーラを発売しました。コカ・コーラの正確なレシピは門外不出というのは有名な話ですが、

「コカ・コーラ本社の社長と副社長の2人しか全世界でレシピを知る者はいない」

「アメリカの本社の工場以外では原液は作れない」

「コカ・コーラのレシピのメモは金庫に保管されている」

など数々の都市伝説が言い伝えられているものの、実際はどうなのでしょう。

まず、「レシピは社長と副社長しか知らない」件ですが、確かにコカ・コーラのレシピを知る人は、全世界で数人しか知らないというのは事実ですが、それがどういう役職の人たちなのかも含めて明らかにはされておりません。素性が分かると誘拐され強制的にレシピを聞き出すような犯罪が起きないとも限らないので、人数もはっきりしていないのです。ちなみに、社長や副社長は知らないようです。

続いて、「アメリカの本社以外ではコカ・コーラは原液の製造できない」話ですがコカ・コーラの原液についてはアメリカ以外にも製造しているところがあり、日本国内にも1か所、滋賀県に原液工場があるため、この都市伝説はデマといえます。

最後に、「コカ・コーラのレシピのメモは金庫に保管されている」話はどうでしょうか。これは半分真実で、2011年より前は（本社のある）アトランタの信用金庫の金庫にレシピメモは保管されていましたが、今は、同じくアトランタにある「ワールド・オブ コカ・コーラ」内にある特別な施設の中に保管されています。

薬剤師が生み出したコカ・コーラは、元々は薬として販売されていました。コカインの効果により「疲労が消える」神経薬というのが一番のうたい文句で、「食欲不振・頭痛・体調不良・二日酔い・神経痛・リウマチ」などに効くともアピールしていました。コカインが入っていたことも知らなかった人には驚きですが、今でいうエナジードリンク的な役割だったわけです。 【参考】<https://choureineta.com/5-8/>